

問 19 あて名のご本人は、今後、就労を支援する施設に通いたい（通いつけたい）ですか。（主なもの1つに○）

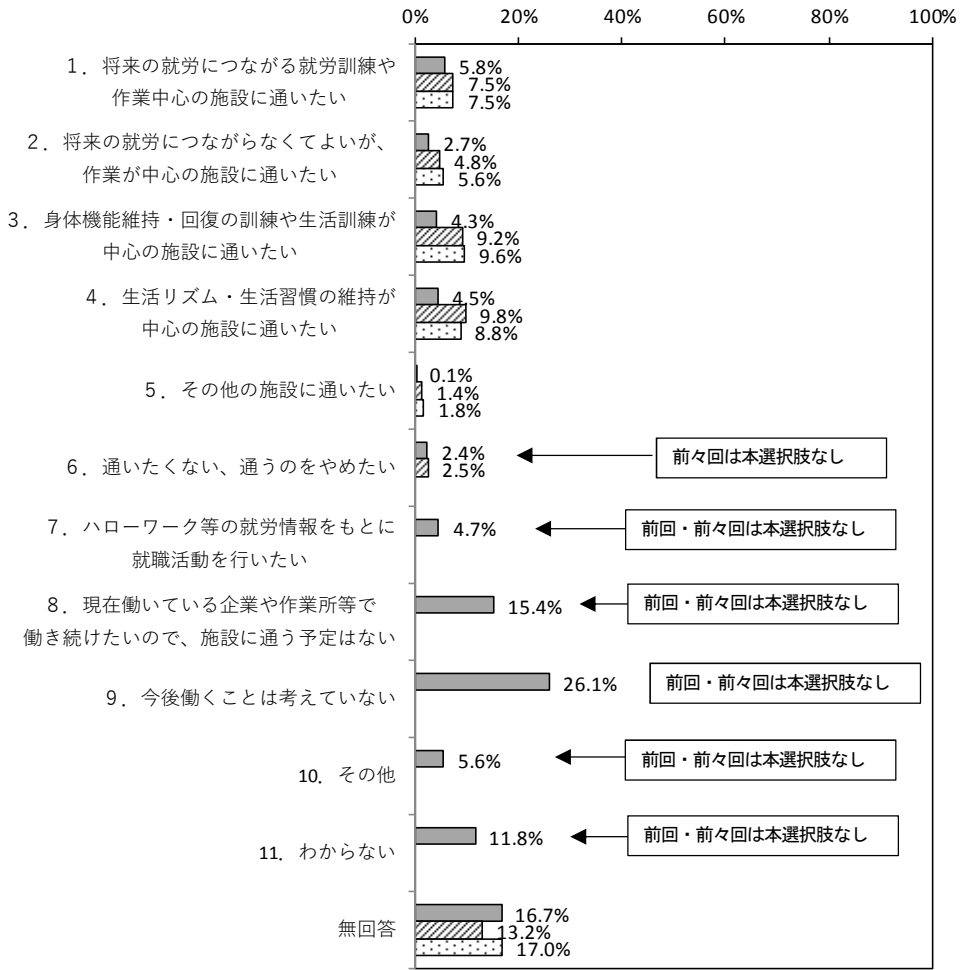
1. 将来の就労につながる就労訓練や作業中心の施設に通いたい
2. 将来の就労につながらなくてよいが、作業が中心の施設に通いたい
3. 身体機能維持・回復の訓練や生活訓練が中心の施設に通いたい
4. 生活リズム・生活習慣の維持が中心の施設に通いたい
5. その他の施設に通いたい（具体的な施設を記述）
6. 通いたくない、通うのをやめたい（その理由を記述）
7. ハローワーク等の就労情報をもとに就職活動を行いたい
8. 現在働いている企業や作業所等で働きたいので、施設に通う予定はない
9. 今後働くことは考えていない
10. その他
11. わからない

「現在働いている企業や作業所等で働きたい」が約15%

今後、就労を支援する施設に通うかどうかの意向については、全体では「現在働いている企業や作業所等で働きたいので、施設に通う予定はない」が約15%となっています。

障害別にみると、知的障害の方では「将来の就労につながる就労訓練や作業中心の施設に通いたい」が約19%と2番目に多くなっています。精神障害の方では、「わからない」が約22%と多くなっていますが、「ハローワーク等の就労情報をもとに就職活動を行いたい」が約12%と2番目に多くなっています。

身体障害および難病の方については、「今後働くことは考えていない」が最も多くなっていますが、これは、知的・精神障害に比べ65歳以上の回答者が多いこと（問2参照）によると考えられます。



(N=986)

■今年度    ▨前回    □前々回

		回答者数	1. 将来の就労につながる就労訓練や作業中心の施設に通いたい	2. 将来の就労につながらなくてよいが、作業が中心の施設に通いたい	3. 身体機能維持・回復の訓練や生活訓練が中心の施設に通いたい	4. 生活リズム・生活習慣の維持が中心の施設に通いたい	5. その他の施設に通いたい (具体的に)	6. 通いたくない、通うのをやめたい (その理由)	7. ハローワーク等の就労情報をもとに就職活動を行いたい	8. 現在働いている企業や作業所等で働き続けたいので、施設に通う予定はない	9. 今後働くことは考えていない	10. その他	11. わからない	無回答
総計	人数	986	57	27	42	44	1	24	46	152	257	55	116	165
	構成比		5.8%	2.7%	4.3%	4.5%	0.1%	2.4%	4.7%	15.4%	26.1%	5.6%	11.8%	16.7%
身体障害	人数	647	13	6	33	23	1	15	26	89	205	35	65	136
	構成比		2.0%	0.9%	5.1%	3.6%	0.2%	2.3%	4.0%	13.8%	31.7%	5.4%	10.0%	21.0%
知的障害	人数	153	29	15	2	12	0	2	5	35	17	6	19	11
	構成比		19.0%	9.8%	1.3%	7.8%	0.0%	1.3%	3.3%	22.9%	11.1%	3.9%	12.4%	7.2%
精神障害	人数	91	10	6	3	6	0	3	11	11	5	9	20	7
	構成比		11.0%	6.6%	3.3%	6.6%	0.0%	3.3%	12.1%	12.1%	5.5%	9.9%	22.0%	7.7%
難病	人数	95	5	0	4	3	0	4	4	17	30	5	12	11
	構成比		5.3%	0.0%	4.2%	3.2%	0.0%	4.2%	4.2%	17.9%	31.6%	5.3%	12.6%	11.6%

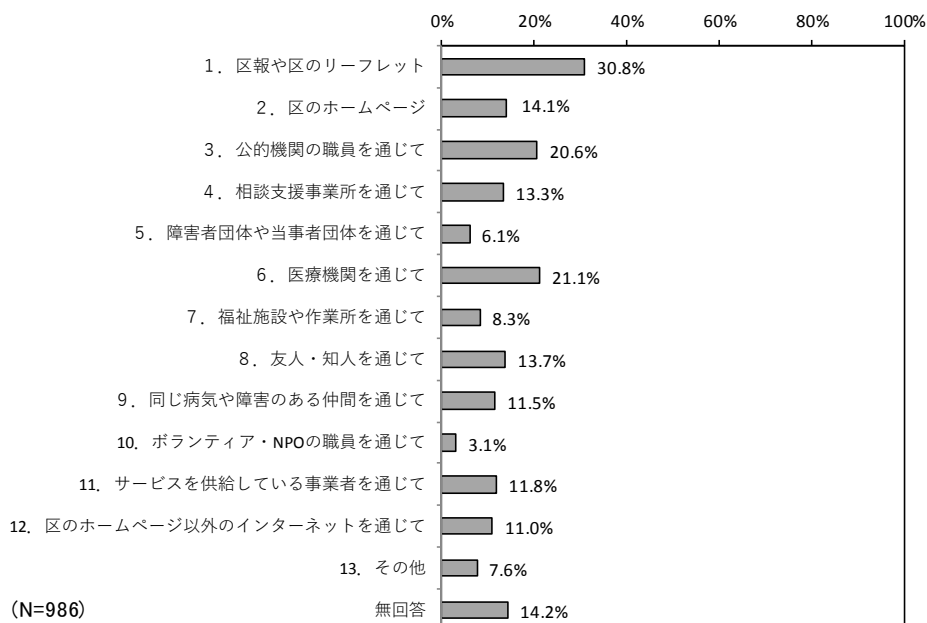
問 20 症状や障害のこと、自分が使えるサービスのことについて、どのように情報を得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1. 区報や区のリーフレット                | 2. 区のホームページ                |
| 3. 公的機関の職員(区、保健所、児童相談所など)を通じて | 4. 相談支援事業所を通じて             |
| 5. 障害者団体や当事者団体を通じて            | 6. 医療機関を通じて                |
| 7. 福祉施設や作業所を通じて               | 8. 友人・知人を通じて               |
| 9. 同じ病気や障害のある仲間を通じて           | 10. ボランティア・NPOの職員を通じて      |
| 11. サービスを供給している事業者を通じて        | 12. 区のホームページ以外のインターネットを通じて |
| 13. その他                       |                            |

## 情報入手方法は「区報や区のリーフレット」が約31%

障害や症状、サービスに関する情報の入手方法は、全体では「区報や区のリーフレット」が約31%、「医療機関を通じて」、「公的機関の職員を通じて」が約21%となっています。

障害別にみると、身体・知的障害の方は「区報や区のリーフレット」がそれぞれ約34%、33%、精神障害・難病の方は「医療機関を通じて」がそれぞれ約39%、約32%と最も多くなっています。知的障害の方は「友人・知人を通じて」が約29%、精神障害の方は「区のホームページ以外のインターネットを通じて」が約29%と2番目に多くなっています。



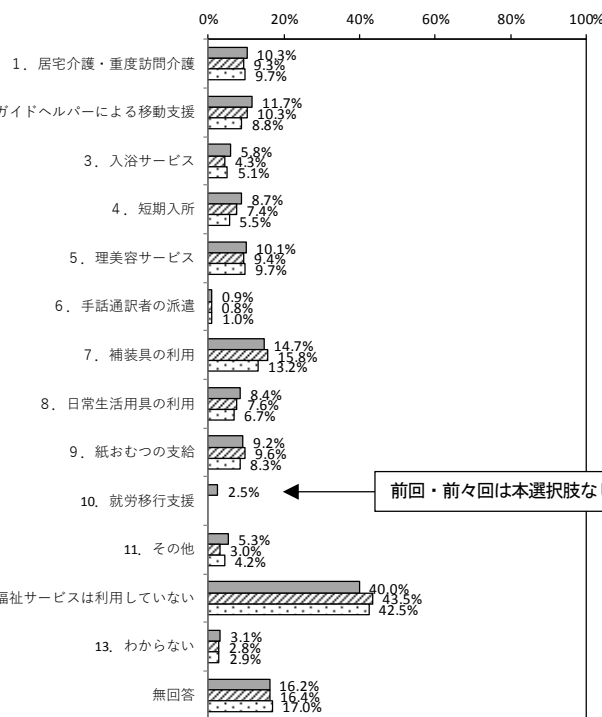
	回答者数	情報入手方法													無回答
		1. 区報や区のリーフレット	2. 区のホームページ	3. 公的機関の職員(区、保健所、児童相談所など)を通じて	4. 相談支援事業所を通じて	5. 障害者団体や当事者団体を通じて	6. 医療機関を通じて	7. 福祉施設や作業所を通じて	8. 友人・知人を通じて	9. 同じ病気や障害のある仲間を通じて	10. ボランティア・NPOの職員を通じて	11. サービスを供給している事業者を通じて	12. 区のホームページ以外のインターネットを通じて	13. その他	
総計	986	304	139	203	131	60	208	82	135	113	31	116	108	75	140
		30.8%	14.1%	20.6%	13.3%	6.1%	21.1%	8.3%	13.7%	11.5%	3.1%	11.8%	11.0%	7.6%	14.2%
身体障害	647	217	89	116	68	24	133	30	72	63	9	79	54	48	106
		33.5%	13.8%	17.9%	10.5%	3.7%	20.6%	4.6%	11.1%	9.7%	1.4%	12.2%	8.3%	7.4%	16.4%
知的障害	153	50	21	44	40	25	10	42	45	29	20	22	13	11	14
		32.7%	13.7%	28.8%	26.1%	16.3%	6.5%	27.5%	29.4%	19.0%	13.1%	14.4%	8.5%	7.2%	9.2%
精神障害	91	16	12	23	18	9	35	10	14	19	2	6	26	10	6
		17.6%	13.2%	25.3%	19.8%	9.9%	38.5%	11.0%	15.4%	20.9%	2.2%	6.6%	28.6%	11.0%	6.6%
難病	95	21	17	20	5	2	30	0	4	2	0	9	15	6	14
		22.1%	17.9%	21.1%	5.3%	2.1%	31.6%	0.0%	4.2%	2.1%	0.0%	9.5%	15.8%	6.3%	14.7%

問 21 (身体・知的・難病) あて名のご本人は、以下の福祉サービスを利用していますか(したことはありますか)。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 居宅介護・重度訪問介護(身体介護、家事援助、移動等) | 2. ガイドヘルパーによる移動支援              |
| 3. 入所サービス                     | 4. 短期入所                        |
| 5. 理美容サービス                    | 6. 手話通訳者の派遣                    |
| 7. 補装具の利用                     | 8. 日常生活用具の利用                   |
| 9. 紙おむつの支給                    | 10. 就労移行支援(就労に必要な知識習得のための訓練など) |
| 11. その他                       | 12. 上記福祉サービスは利用していない(したことはない)  |
| 13. わからない                     |                                |

身体障害は「補装具の利用」、知的障害は「移動支援」「短期入所」

身体・知的障害および難病の方の福祉サービスの利用については、全体では「福祉サービスは利用していない(したことはない)」が約40%と最も多く、次いで「補装具の利用」が約15%となっています。障害別にみると、知的障害の方では「ガイドヘルパーによる移動支援」が約44%、「短期入所」が約29%となっています。難病の方については、「福祉サービスを利用していない」が約58%となっています。



(N=895)

■今年度 □前回 □前々回

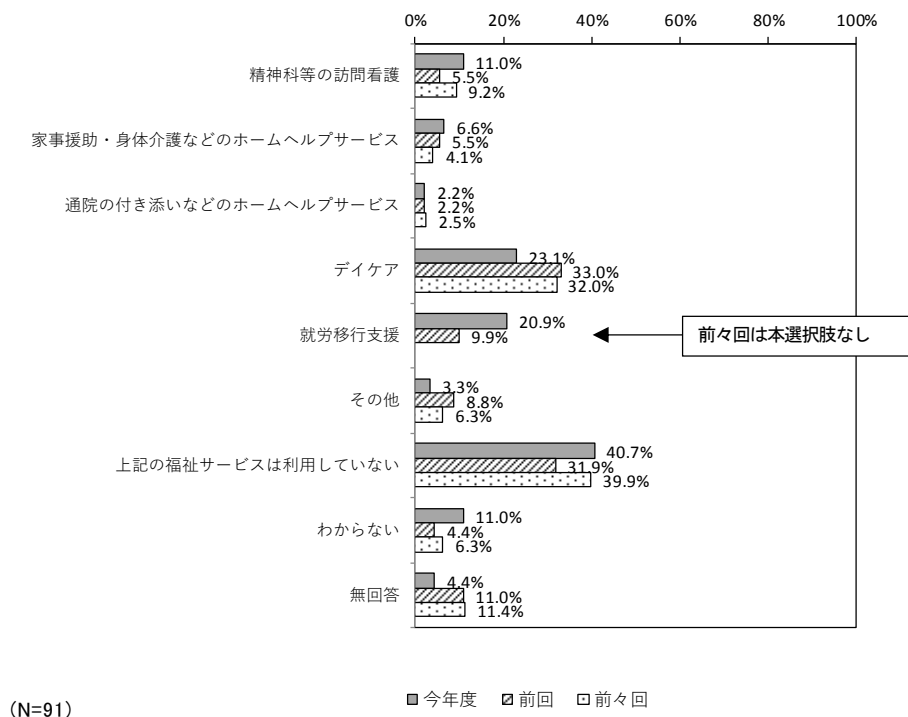
	回答者数	福祉サービスの利用状況													
		1. 居宅介護・重度訪問介護(身体介護、家事援助、移動等)	2. ガイドヘルパーによる移動支援	3. 入浴サービス	4. 短期入所	5. 理美容サービス	6. 手話通訳者の派遣	7. 補装具の利用	8. 日常生活用具の利用	9. 紙おむつの支給	10. 就労移行支援(就労に必要な知識習得のための訓練など)	11. その他	12. 上記の福祉サービスは利用していない(したことはない)	13. わからない	無回答
総計	895	92	105	52	78	90	8	132	75	82	22	47	358	28	145
		10.3%	11.7%	5.8%	8.7%	10.1%	0.9%	14.7%	8.4%	9.2%	2.5%	5.3%	40.0%	3.1%	16.2%
身体障害	647	76	38	41	33	74	8	116	61	60	5	33	269	19	112
		11.7%	5.9%	6.3%	5.1%	11.4%	1.2%	17.9%	9.4%	9.3%	0.8%	5.1%	41.6%	2.9%	17.3%
知的障害	153	11	67	7	44	13	0	11	8	16	17	9	34	7	12
		7.2%	43.8%	4.6%	28.8%	8.5%	0.0%	7.2%	5.2%	10.5%	11.1%	5.9%	22.2%	4.6%	7.8%
難病	95	5	0	4	1	3	0	5	6	6	0	5	55	2	21
		5.3%	0.0%	4.2%	1.1%	3.2%	0.0%	5.3%	6.3%	6.3%	0.0%	5.3%	57.9%	2.1%	22.1%

問 21 (精神) あて名のご本人は、以下の福祉サービスを利用していますか (したことはありませんか)。(あてはまるものすべてに○)

1. 精神科等の訪問看護
2. 家事援助・身体介護などのホームヘルプサービス
3. 通院の付き添いなどのホームヘルプサービス
4. デイケア
5. 就労移行支援 (就労に必要な知識習得のための訓練など)
6. その他
7. 上記の福祉サービスは利用していない (したことはない)
8. わからない

## 「デイケア」が約23%、「就労移行支援」が約21%

精神障害の方の福祉サービスの利用については、「福祉サービスは利用していない(したことはない)」が約41%、「デイケア」が約23%、「就労移行支援」が約21%となっています。「就労移行支援」は前回調査から11ポイント増加しています。



		回答者数	精神科等の訪問看護	家事援助・身体介護などのホームヘルプサービス	通院の付き添いなどのホームヘルプサービス	デイケア	就労移行支援 (就労に必要な知識習得のための訓練など)	その他	上記の福祉サービスは利用していない (したことはない)	わからない	無回答
精神障害	人数	91	10	6	2	21	19	3	37	10	4
	構成比		11.0%	6.6%	2.2%	23.1%	20.9%	3.3%	40.7%	11.0%	4.4%

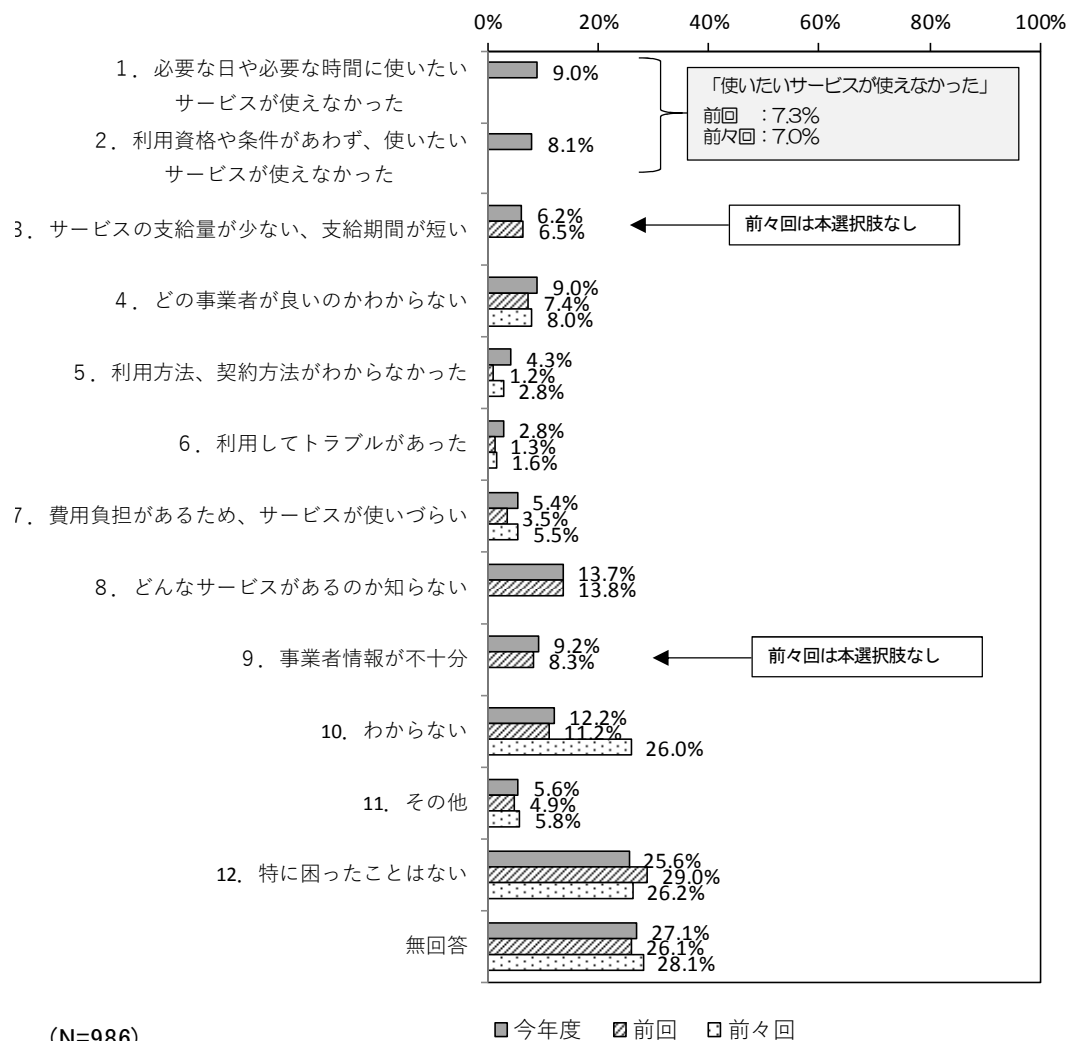
問 22 福祉サービスを利用するときに何か困ったことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった
2. 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった
3. サービスの支給量が少ない、支給期間が短い
4. どの事業者が良いのかわからない
5. 利用方法、契約方法がわからなかった(わかりにくかった)
6. 利用してトラブルがあった
7. 費用負担があるため、サービスが使いづらい
8. どんなサービスがあるのか知らない
9. 事業者情報が不十分
10. わからない
11. その他
12. 特に困ったことはない

「どんなサービスがあるのか知らない」が約14%

サービスを利用するときに困ったことについては、「特に困ったことはない」が約26%と最も多く、次いで「どんなサービスがあるのか知らない」が約14%となっています。

障害別にみると、知的障害の方では「必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった」が約26%と最も多くなっています。



(N=986)

その他の内容：

- ・こちらの需要に応じたサービスがない
- ・断られた、利用拒否
- ・医療ケアに対応してくれる事業者が少ない
- ・サービスを受けたいが、どうしたらよいかわからないなど

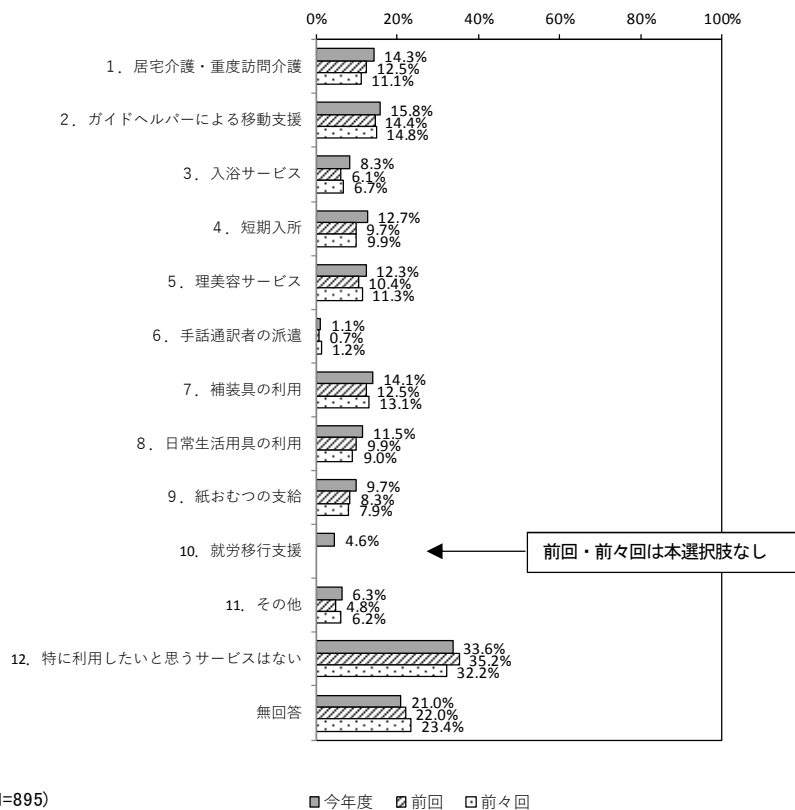
	回答者数	1. 必要な日や必要な時間に使いたいサービスが使えなかった	2. 利用資格や条件があわず、使いたいサービスが使えなかった	3. サービスの支給量が少ない、支給期間が短い	4. どの事業者が良いのかわからない	5. 利用方法、契約方法がわからなかった(わかりにくかった)	6. 利用してトラブルがあった	7. 費用負担があるため、サービスが使いづらい	8. どんなサービスがあるのか知らない	9. 事業者情報が不十分	10. わからない	11. その他	12. 特に困ったことはない	無回答													
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比												
総計	986	89	8.0%	61	6.2%	89	9.0%	42	4.3%	28	2.8%	53	5.4%	135	13.7%	91	9.2%	120	12.2%	55	5.6%	252	25.6%	267	27.1%		
身体障害	647	44	6.8%	49	7.6%	41	6.3%	47	7.3%	24	3.7%	15	2.3%	30	4.6%	80	12.4%	52	8.0%	74	11.4%	36	5.6%	181	28.0%	186	28.7%
知的障害	153	39	25.5%	17	11.1%	14	9.2%	24	15.7%	7	4.6%	5	3.3%	9	5.9%	16	10.5%	20	13.1%	12	7.8%	8	5.2%	34	22.2%	35	22.9%
精神障害	91	5	5.5%	9	9.9%	5	5.5%	13	14.3%	8	8.8%	7	7.7%	7	7.7%	24	26.4%	15	16.5%	21	23.1%	5	5.5%	16	17.6%	12	13.2%
難病	95	1	1.1%	5	5.3%	1	1.1%	5	5.3%	3	3.2%	1	1.1%	7	7.4%	15	15.8%	4	4.2%	13	13.7%	6	6.3%	21	22.1%	34	35.8%

問 23 (身体・知的・難病) 今後、以下の福祉サービスの中で、利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |                                |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 1. 居宅介護・重度訪問介護(身体介護、家事援助、移動等) | 2. ガイドヘルパーによる移動支援              |
| 3. 入所サービス                     | 4. 短期入所                        |
| 5. 理美容サービス                    | 6. 手話通訳者の派遣                    |
| 7. 補装具の利用                     | 8. 日常生活用具の利用                   |
| 9. 紙おむつの支給                    | 10. 就労移行支援(就労に必要な知識習得のための訓練など) |
| 11. その他                       | 12. 特に利用したいと思うサービスはない          |

知的障害は「移動支援」「短期入所」、身体障害は「補装具の利用」

身体・知的障害および難病の方の今後利用したいサービスについては、全体では「特に利用したいと思うサービスはない」が約34%と最も多くなっていますが、障害別にみると、知的障害の方では「ガイドヘルパーによる移動支援」が約44%、次いで「短期入所」が約39%と多く、身体障害の方では「補装具の利用」が約17%、難病の方では「居宅介護・重度訪問介護」が約12%と多くなっています。



	回答者数	サービス											12. 特に利用したいと思うサービスはない	無回答
		1. 居宅介護・重度訪問介護(身体介護、家事援助、移動等)	2. ガイドヘルパーによる移動支援	3. 入浴サービス	4. 短期入所	5. 理美容サービス	6. 手話通訳者の派遣	7. 補装具の利用	8. 日常生活用具の利用	9. 紙おむつの支給	10. 就労移行支援(就労に必要な知識習得のための訓練など)	11. その他		
総計	895	128	141	74	114	110	10	126	103	87	41	56	301	188
		14.3%	15.8%	8.3%	12.7%	12.3%	1.1%	14.1%	11.5%	9.7%	4.6%	6.3%	33.6%	21.0%
身体障害	647	96	68	57	48	78	9	107	82	61	15	41	235	141
		14.8%	10.5%	8.8%	7.4%	12.1%	1.4%	16.5%	12.7%	9.4%	2.3%	6.3%	36.3%	21.8%
知的障害	153	21	68	11	60	24	0	14	12	18	24	8	25	22
		13.7%	44.4%	7.2%	39.2%	15.7%	0.0%	9.2%	7.8%	11.8%	15.7%	5.2%	16.3%	14.4%
難病	95	11	5	6	6	8	1	5	9	8	2	7	41	25
		11.6%	5.3%	6.3%	6.3%	8.4%	1.1%	5.3%	9.5%	8.4%	2.1%	7.4%	43.2%	26.3%

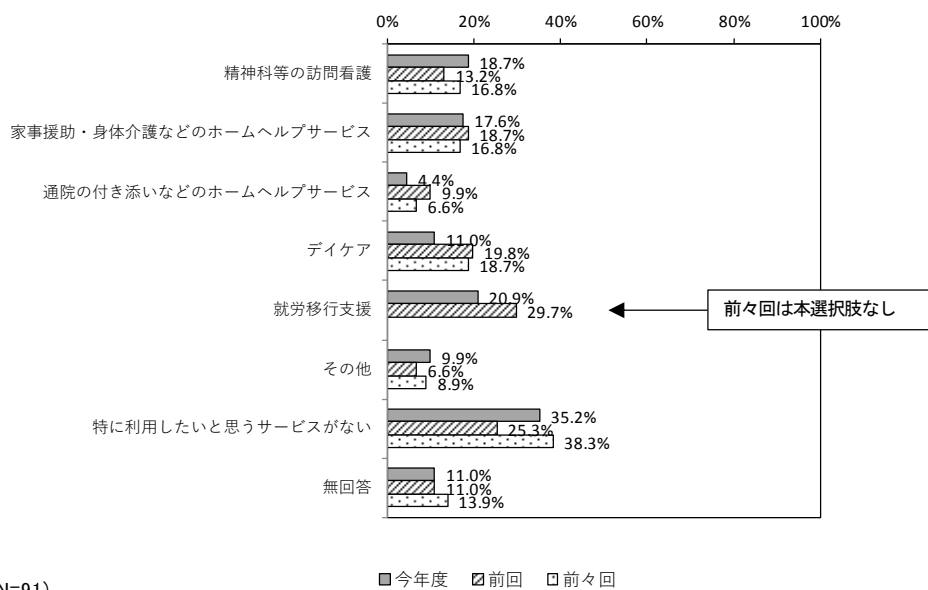


問 23 (精神) 今後、以下の福祉サービスの中で、利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 精神科等の訪問看護
2. 家事援助・身体介護などのホームヘルプサービス
3. 通院の付き添いなどのホームヘルプサービス
4. デイケア
5. 就労移行支援 (就労に必要な知識習得のための訓練など)
6. その他
7. 特に利用したいと思うサービスはない

## 「就労移行支援」が約21%

精神障害の方の今後利用したいサービスについては、「利用したいと思うサービスはない」が約35%と最も多くなっています。次いで、「就労移行支援」が約21%、「精神科等の訪問看護」が約19%、「家事援助などのホームヘルプサービス」が約18%となっています。



(N=91)

		回答者数	精神科等の訪問看護	家事援助・身体介護などのホームヘルプサービス	通院の付き添いなどのホームヘルプサービス	デイケア	就労移行支援 (就労に必要な知識習得のための訓練など)	その他	特に利用したいと思うサービスがない	無回答
精神障害	人数	91	17	16	4	10	19	9	32	10
	構成比		18.7%	17.6%	4.4%	11.0%	20.9%	9.9%	35.2%	11.0%

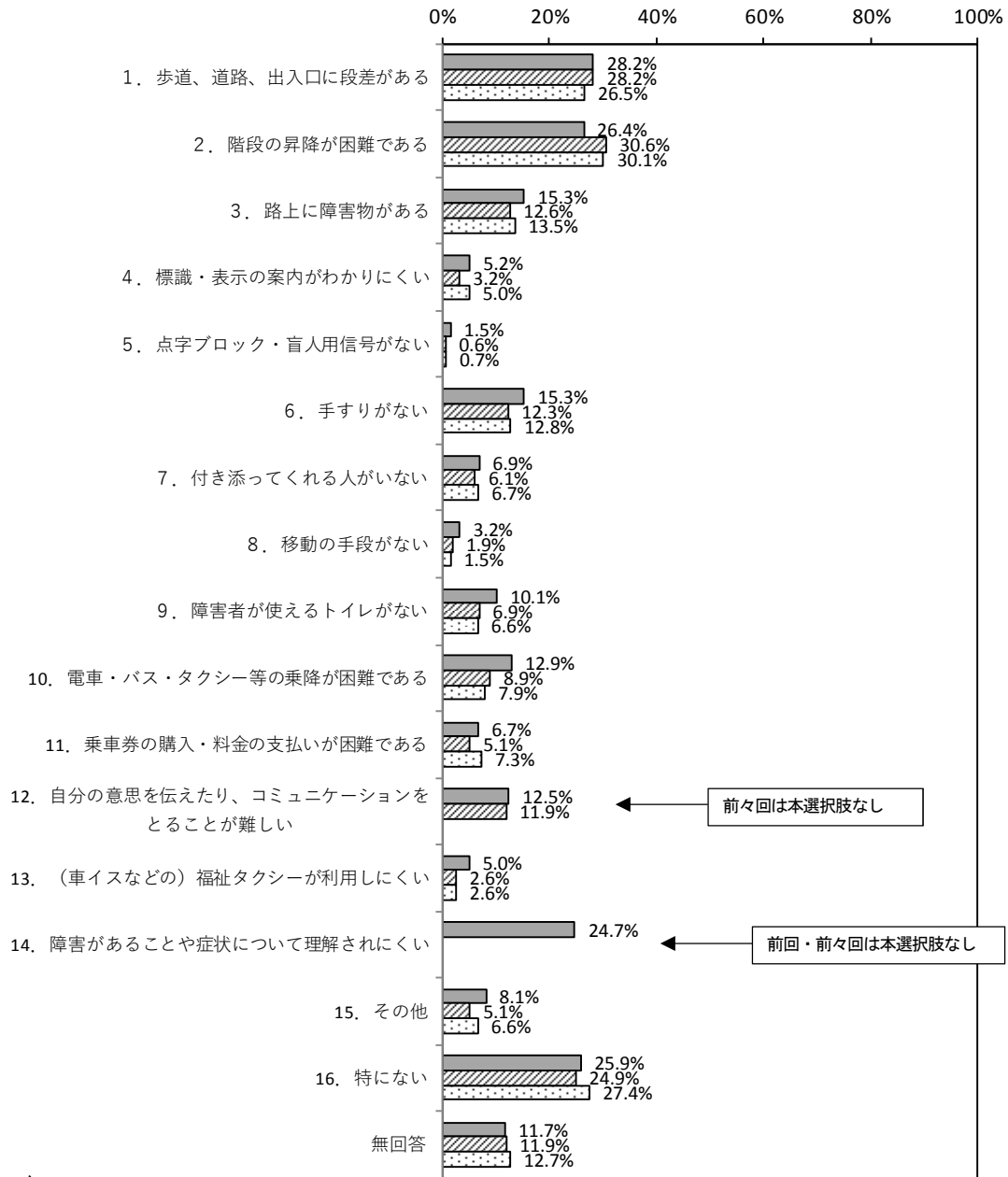
問24 外出するときに困ったり不便に感じたりすることは何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                                   |                    |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 歩道、道路、出入口に段差がある                | 2. 階段の昇降が困難である     |
| 3. 路上に障害物がある                      | 4. 標識・表示の案内がわかりにくい |
| 5. 点字ブロック・盲人用信号がない                | 6. 手すりがない          |
| 7. 付き添ってくれる人がいない                  | 8. 移動の手段がない        |
| 9. 障害者が使えるトイレがない                  |                    |
| 10. 電車・バス・タクシー等の乗降が困難である          |                    |
| 11. 乗車券の購入・料金の支払いが困難である           |                    |
| 12. 自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい |                    |
| 13. (車イスなどの)福祉タクシーが利用しにくい         |                    |
| 14. 障害があることや症状について理解されにくい         |                    |
| 15. その他                           |                    |
| 16. 特にない                          |                    |

身体障害・難病では段差や階段、知的・精神障害ではコミュニケーションや障害理解

外出するときに困ったり不便に感じることについては、全体では「歩道、道路、出入口に段差がある」が約28%と最も多く、次いで「階段の昇降が困難である」が約26%となっています。

障害別にみると、身体障害・難病の方は「歩道、道路、出入口に段差がある」「階段の昇降が困難である」などハード面に対して困ったり不便に感じているのに対し、知的障害の方は「自分の意思を伝えたり、コミュニケーションをとることが難しい」が約46%、「障害があることや症状について理解されにくい」が約41%、精神障害の方は「障害があることや症状について理解されにくい」が約47%と、外出した際のコミュニケーションや障害理解に対して困ったり不便に感じています。



(N=986)

■今年度 ■前回 ■前々回

		回答者数																	
		1 る 歩 道 、 道 路 、 出 入 口 に 段 差 が あ る	2 階 段 の 昇 降 が 困 難 で あ る	3 路 上 に 障 害 物 が あ る	4 い 標 識 ・ 表 示 の 案 内 が わ か り に く い	5 い 点 字 ブ ロ ッ ク ・ 盲 人 用 信 号 が な い	6 手 す り が な い	7 付 き 添 っ て く れ る 人 が い な い	8 移 動 の 手 段 が な い	9 障 害 者 が 使 え る ト イ レ が な い	10 が 電 車 ・ バ ス ・ タ ク シ ー 等 の 乗 降	11 乗 車 券 の 購 入 ・ 料 金 の 支 払 い が	12 自 分 の 意 思 を 伝 え た り 、 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン を と る こ と が 難 し い	13 が 利 用 し に く い ( 車 い す な ど の ) 福 祉 タ ク シ ー	14 障 害 が あ る こ と や 症 状 に つ い て	15 そ の 他	16 特 に な い	無 回 答	
総計	人数	986	278	260	151	51	15	151	68	32	100	127	66	123	49	244	80	255	115
	構成比		28.2%	26.4%	15.3%	5.2%	1.5%	15.3%	6.9%	3.2%	10.1%	12.9%	6.7%	12.5%	5.0%	24.7%	8.1%	25.9%	11.7%
身体障害	人数	647	228	211	118	32	10	134	37	27	74	95	31	38	40	126	52	167	79
	構成比		35.2%	32.6%	18.2%	4.9%	1.5%	20.7%	5.7%	4.2%	11.4%	14.7%	4.8%	5.9%	6.2%	19.5%	8.0%	25.8%	12.2%
知的障害	人数	153	18	13	18	13	3	4	16	1	17	11	27	70	6	62	10	33	14
	構成比		11.8%	8.5%	11.8%	8.5%	2.0%	2.6%	10.5%	0.7%	11.1%	7.2%	17.6%	45.8%	3.9%	40.5%	6.5%	21.6%	9.2%
精神障害	人数	91	7	11	4	2	1	4	7	1	0	4	4	14	0	43	12	30	2
	構成比		7.7%	12.1%	4.4%	2.2%	1.1%	4.4%	7.7%	1.1%	0.0%	4.4%	4.4%	15.4%	0.0%	47.3%	13.2%	33.0%	2.2%
難病	人数	95	25	25	11	4	1	9	8	3	9	17	4	1	3	13	6	25	20
	構成比		26.3%	26.3%	11.6%	4.2%	1.1%	9.5%	8.4%	3.2%	9.5%	17.9%	4.2%	1.1%	3.2%	13.7%	6.3%	26.3%	21.1%

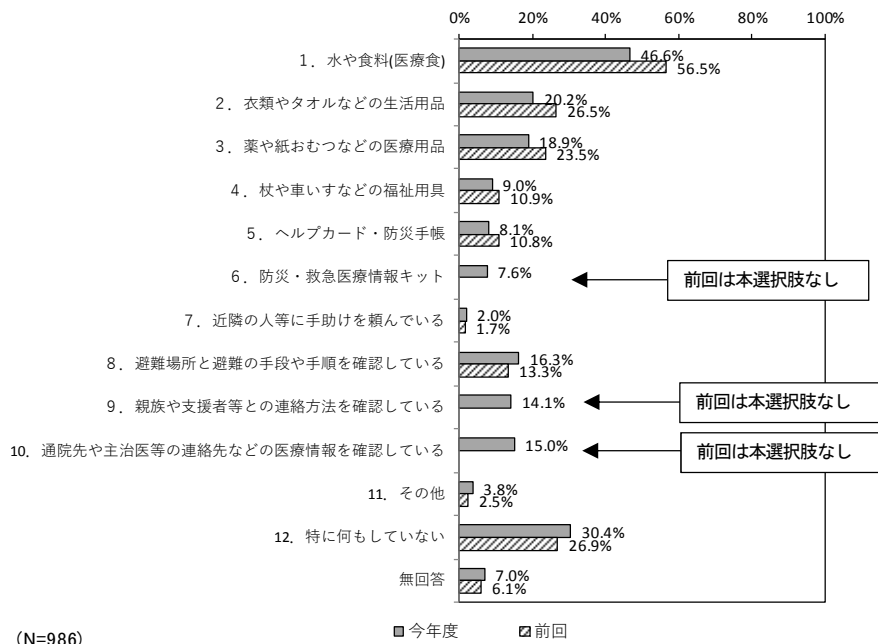
問 25 災害が起こった時に備え準備しているものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                |                  |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 水や食料(医療食)                   | 2. 衣類やタオルなどの生活用品 |
| 3. 薬や紙おむつなどの医療用品               | 4. 杖や車いすなどの福祉用具  |
| 5. ヘルプカード・防災手帳                 | 6. 防災・救急医療情報キット  |
| 7. 近隣の人等に手助けを頼んでいる             |                  |
| 8. 避難場所と避難の手段や手順を確認している        |                  |
| 9. 親族や支援者等との連絡方法を確認している        |                  |
| 10. 通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している |                  |
| 11. その他                        |                  |
| 12. 特に何もしていない                  |                  |

「水や食料(医療食)」が約47%、「何もしていない」が約30%

災害に備え準備しているものについては、全体では「水や食料(医療食)」が約47%で最も多く、次いで「特に何もしていない」が約30%となっています。

障害別にみると、精神障害の方では「特に何もしていない」が約44%と、他の障害の方より高くなっています。また、難病の方については、「避難場所と避難の手段や手順を確認している」「親族や支援者等との連絡方法を確認している」「通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している」が他の障害の方より低くなっています。



(N=986)

■今年度 □前回

		回答者数	1. 水や食料(医療食)	2. 衣類やタオルなどの生活用品	3. 薬や紙おむつなどの医療用品	4. 杖や車いすなどの福祉用具	5. ヘルプカード・防災手帳	6. 防災・救急医療情報キット	7. 近隣の人等に手助けを頼んでいる	8. 避難場所と避難の手段や手順を確認している	9. 親族や支援者等との連絡方法を確認している	10. 通院先や主治医等の連絡先などの医療情報を確認している	11. その他	12. 特に何もしていない	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
総計		986	459	199	186	89	80	75	20	161	139	148	37	300	69
身体障害		647	303	135	125	76	56	54	14	110	88	101	27	188	50
知的障害		153	85	30	34	4	18	8	4	27	31	20	2	39	8
精神障害		91	26	16	13	1	3	10	2	19	13	18	6	40	4
難病		95	45	18	14	8	3	3	0	5	7	9	2	33	7
			47.4%	18.9%	14.7%	8.4%	3.2%	3.2%	0.0%	5.3%	7.4%	9.5%	2.1%	34.7%	7.4%

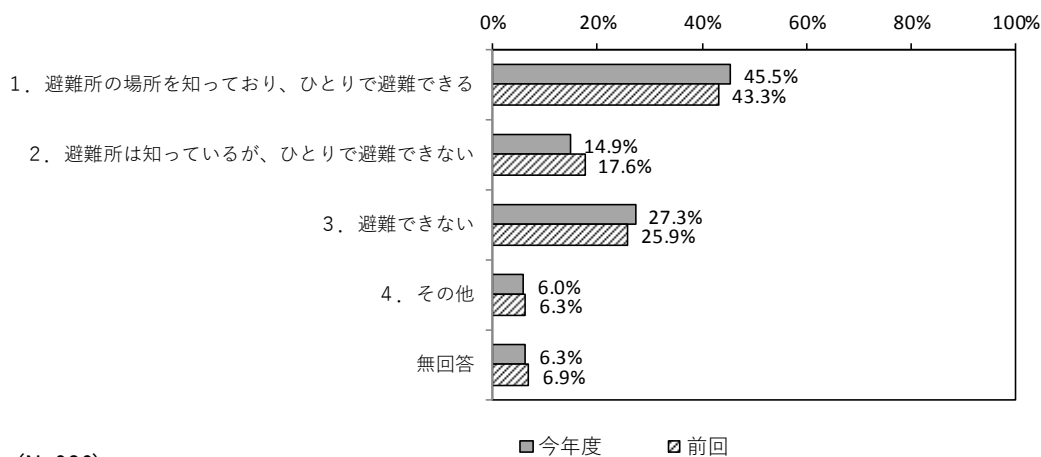
問 26 あて名のご本人は、ひとりで避難所に避難できますか。(1つに〇)

1. 避難所の場所を知っており、ひとりで避難できる
2. 避難所は知っているが、ひとりで避難できない
3. 避難できない
4. その他

「避難所の場所を知っており、ひとりで避難できる」が約46%

避難所への避難については、全体では「避難所の場所を知っており、ひとりで避難できる」が約46%、「避難できない」が約27%となっています。

障害別にみると、知的障害の方では「避難できない」が約61%と多くなっています。



(N=986)

		回答者数	1. 避難所の場所を知っており、ひとりで避難できる	2. 避難所は知っているが、ひとりで避難できない	3. 避難できない	4. その他	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数
総計	人数	986	449	147	269	59	62
	構成比		45.5%	14.9%	27.3%	6.0%	6.3%
身体障害	人数	647	301	112	146	41	47
	構成比		46.5%	17.3%	22.6%	6.3%	7.3%
知的障害	人数	153	29	16	93	4	11
	構成比		19.0%	10.5%	60.8%	2.6%	7.2%
精神障害	人数	91	56	5	16	12	2
	構成比		61.5%	5.5%	17.6%	13.2%	2.2%
難病	人数	95	63	14	14	2	2
	構成比		66.3%	14.7%	14.7%	2.1%	2.1%

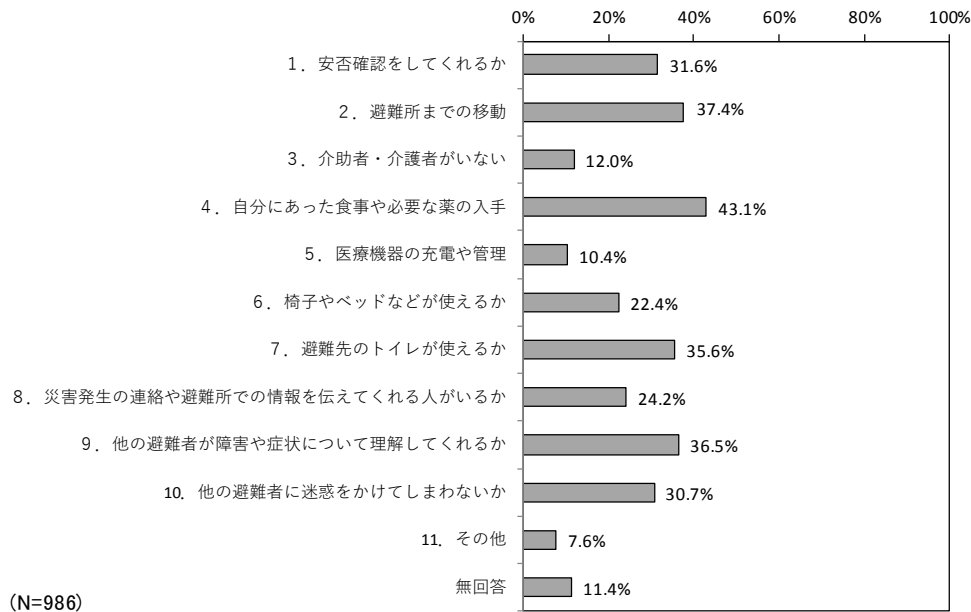
問 27 災害発生時や避難所での生活で、不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 安否確認をしてくれるか
- 2. 避難所までの移動
- 3. 介助者・介護者がいない
- 4. 自分にあった食事や必要な薬の入手
- 5. 医療機器の充電や管理
- 6. 椅子やベッドなどが使えるか
- 7. 避難先のトイレが使えるか
- 8. 災害発生時の連絡や避難所での情報を伝えてくれる人がいるか
- 9. 他の避難者が障害や症状について理解してくれるか
- 10. 他の避難者に迷惑をかけてしまわないか
- 11. その他

「自分にあった食事や必要な薬の入手」が43%

災害発生時や避難所での生活で不安に思うことについては、「自分にあった食事や必要な薬の入手」が約43%で最も多く、次いで「避難所までの移動」が約37%となっています。

障害別にみると、知的・精神障害の方では「他の避難者が障害や症状について理解してくれるか」がそれぞれ約67%、約50%と多くなっています。身体障害・難病の方では、「避難先のトイレが使えるか」がそれぞれ約38%、約31%と多くなっています。



		不安に思うこと											11. その他	無回答
		1. 安否確認をしてくれるか	2. 避難所までの移動	3. 介助者・介護者がいない	4. 自分にあった食事や必要な薬の入手	5. 医療機器の充電や管理	6. 椅子やベッドなどが使えるか	7. 避難先のトイレが使えるか	8. 災害発生時の連絡や避難所での情報を伝えてくれる人がいるか	9. 他の避難者が障害や症状について理解してくれるか	10. 他の避難者に迷惑をかけてしまわないか			
総計	人数	986	312	369	118	425	103	221	351	239	360	303	75	112
	構成比		31.6%	37.4%	12.0%	43.1%	10.4%	22.4%	35.6%	24.2%	36.5%	30.7%	7.6%	11.4%
身体障害	人数	647	191	249	66	255	79	171	246	132	188	173	49	80
	構成比		29.5%	38.5%	10.2%	39.4%	12.2%	26.4%	38.0%	20.4%	29.1%	26.7%	7.6%	12.4%
知的障害	人数	153	72	67	38	55	11	20	41	67	102	76	11	7
	構成比		47.1%	43.8%	24.8%	35.9%	7.2%	13.1%	26.8%	43.8%	66.7%	49.7%	7.2%	4.6%
精神障害	人数	91	33	28	10	63	5	10	35	27	45	32	9	7
	構成比		36.3%	30.8%	11.0%	69.2%	5.5%	11.0%	38.5%	29.7%	49.5%	35.2%	9.9%	7.7%
難病	人数	95	16	25	4	52	8	20	29	13	25	22	6	18
	構成比		16.8%	26.3%	4.2%	54.7%	8.4%	21.1%	30.5%	13.7%	26.3%	23.2%	6.3%	18.9%

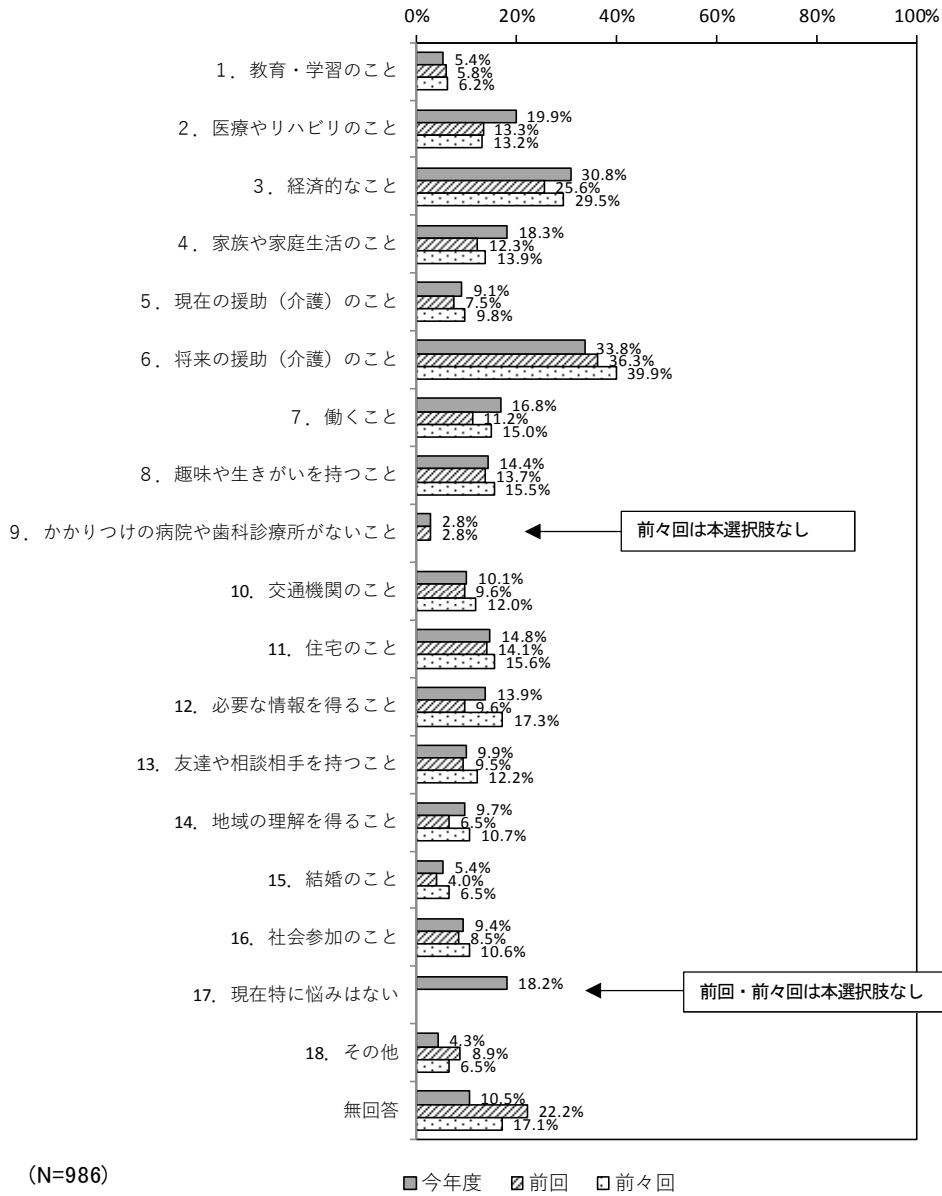
問 28 あて名のご本人は、生活の中で悩みごとや困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. 教育・学習のこと            | 2. 医療やリハビリのこと   |
| 3. 経済的なこと              | 4. 家族や家庭生活のこと   |
| 5. 現在の援助（介護）のこと        | 6. 将来の援助（介護）のこと |
| 7. 働くこと                | 8. 趣味や生きがいを持つこと |
| 9. かかりつけの病院や歯科診療所がないこと | 10. 交通機関のこと     |
| 11. 住宅のこと              | 12. 必要な情報を得ること  |
| 13. 友達や相談相手を持つこと       | 14. 地域の理解を得ること  |
| 15. 結婚のこと              | 16. 社会参加のこと     |
| 17. 現在特に悩みはない          | 18. その他         |

「将来の援助（介護）のこと」が34%、「経済的なこと」が31%

生活の中での悩みごとや困ったことについては、全体では「将来の援助（介護）のこと」が約34%、「経済的なこと」が約31%となっています。

障害別にみると、知的障害の方では「地域の理解を得ること」が約32%と多くなっています。精神障害の方では「経済的なこと」が約65%と最も多く、次いで「働くこと」が約54%となっています。



	回答者数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	無回答
		教育・学習のこと	医療やリハビリのこと	経済的なこと	家族や家庭生活のこと	現在の援助（介護）のこと	将来の援助（介護）のこと	働くこと	趣味や生きがいを持つこと	かかりつけの病院や歯科診療	かかりつけの病院や歯科診療	交通機関のこと	住宅のこと	必要な情報を得ること	友達や相談相手を持つこと	地域の理解を得ること	結婚のこと	社会参加のこと	現在特に悩みはない	その他
総計	986	53	196	304	180	90	333	166	142	28	100	146	137	98	96	53	93	179	42	104
		5.4%	19.9%	30.8%	18.3%	9.1%	33.8%	16.8%	14.4%	2.8%	10.1%	14.8%	13.9%	9.9%	9.7%	5.4%	9.4%	18.2%	4.3%	10.5%
身体障害	647	18	130	184	87	55	195	67	70	15	58	81	76	35	31	19	28	142	25	80
		2.8%	20.1%	28.4%	13.4%	8.5%	30.1%	10.4%	10.8%	2.3%	9.0%	12.5%	11.7%	5.4%	4.8%	2.9%	4.3%	21.9%	3.9%	12.4%
知的障害	153	28	31	32	33	16	82	35	34	9	18	25	35	31	49	14	34	11	6	13
		18.3%	20.3%	20.9%	21.6%	10.5%	53.6%	22.9%	22.2%	5.9%	11.8%	16.3%	22.9%	20.3%	32.0%	9.2%	22.2%	7.2%	3.9%	8.5%
精神障害	91	5	17	59	38	10	25	49	29	2	12	29	21	25	15	16	29	7	7	3
		5.5%	18.7%	64.8%	41.8%	11.0%	27.5%	53.8%	31.9%	2.2%	13.2%	31.9%	23.1%	27.5%	16.5%	17.6%	31.9%	7.7%	7.7%	3.3%
難病	95	2	18	29	22	9	31	15	9	2	12	11	5	7	1	4	2	19	4	8
		2.1%	18.9%	30.5%	23.2%	9.5%	32.6%	15.8%	9.5%	2.1%	12.6%	11.6%	5.3%	7.4%	1.1%	4.2%	2.1%	20.0%	4.2%	8.4%



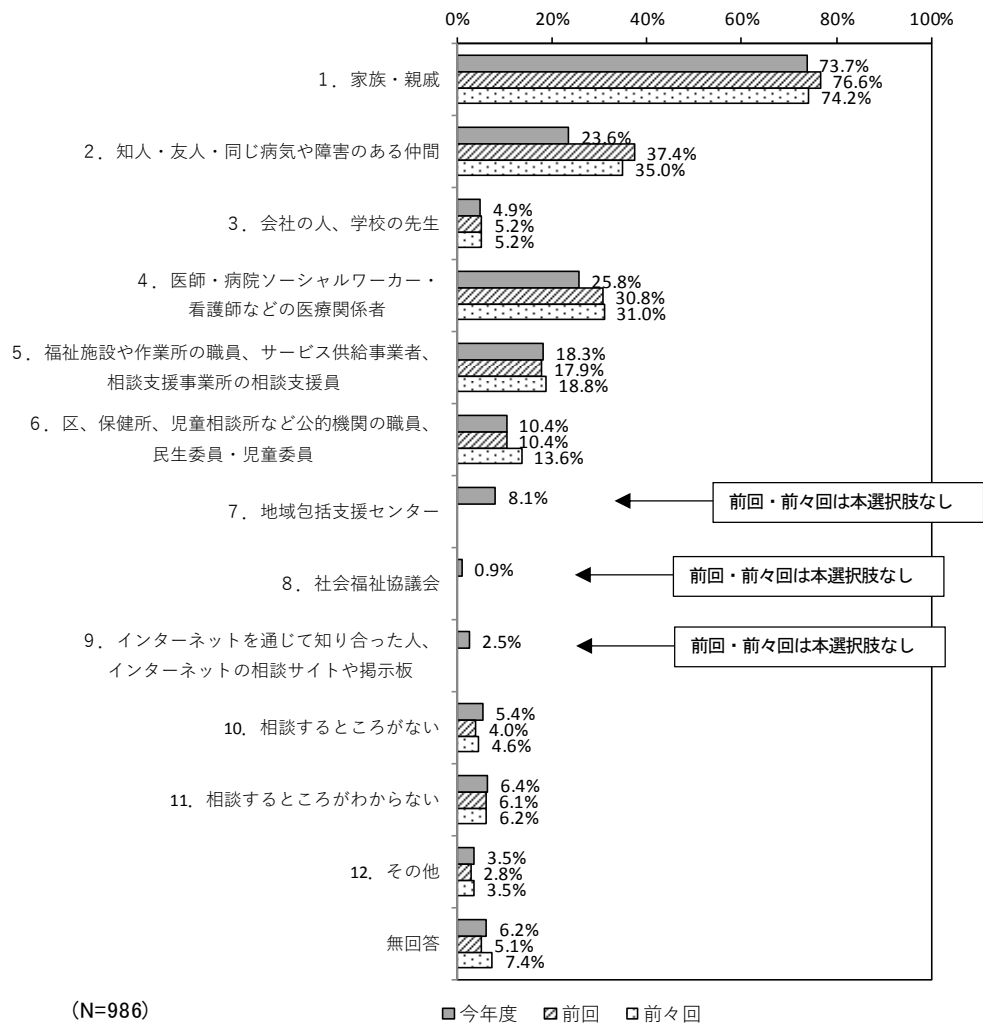
問 29 あて名のご本人が生活をしていく上で、悩みや困ったことを相談するのは誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族・親戚
2. 知人・友人・同じ病気や障害のある仲間
3. 会社の人、学校の先生
4. 医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者
5. 福祉施設や作業所の職員、サービス供給事業者、相談支援事業所の相談支援員
6. 区、保健所、児童相談所など公的機関の職員、民生委員・児童委員
7. 地域包括支援センター
8. 社会福祉協議会
9. インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板
10. 相談するところがない
11. 相談するところがわからない
12. その他

### 「家族・親戚」が約74%

悩みや困ったことの相談先については、全体では「家族・親戚」が約74%、「医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者」が約26%となっています。

障害別にみると、身体障害の方では「知人・友人・同じ病気や障害のある仲間」が約24%、知的障害の方では「福祉施設や作業所の職員、サービス供給事業者、相談支援事業所の相談支援員」が約51%と多くなっています。



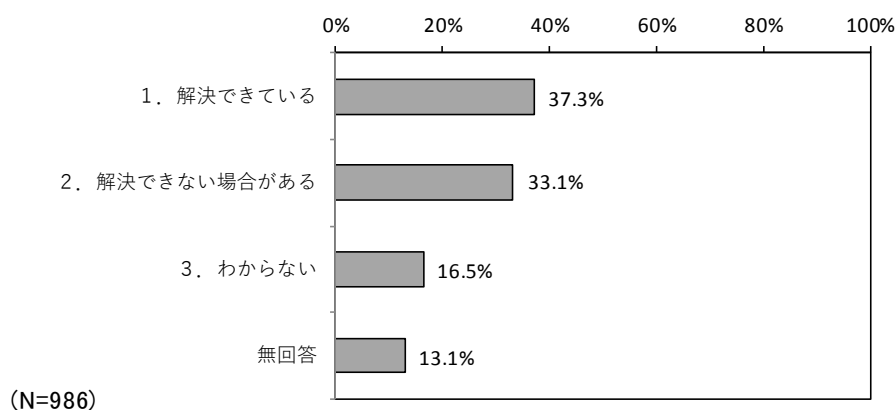
	回答者数	相談支援機関の種類												無回答
		1. 家族・親戚	2. 知人・友人・同じ病気や障害のある仲間	3. 会社の人、学校の先生	4. 医師・病院ソーシャルワーカー・看護師などの医療関係者	5. 福祉施設や作業所の職員、サービス供給事業者、相談支援事業所の相談支援員	6. 区、保健所、児童相談所など公的機関の職員、民生委員・児童委員	7. 地域包括支援センター	8. 社会福祉協議会	9. インターネットを通じて知り合った人、インターネットの相談サイトや掲示板	10. 相談するところがない	11. 相談するところがない	12. その他	
総計	986	727	233	48	254	180	103	80	9	25	53	63	35	61
		73.7%	23.6%	4.9%	25.8%	18.3%	10.4%	8.1%	0.9%	2.5%	5.4%	6.4%	3.5%	6.2%
身体障害	647	481	158	19	156	78	58	60	7	12	29	33	20	47
		74.3%	24.4%	2.9%	24.1%	12.1%	9.0%	9.3%	1.1%	1.9%	4.5%	5.1%	3.1%	7.3%
知的障害	153	119	23	23	22	78	22	5	1	2	4	12	9	9
		77.8%	15.0%	15.0%	14.4%	51.0%	14.4%	3.3%	0.7%	1.3%	2.6%	7.8%	5.9%	5.9%
精神障害	91	54	34	2	52	19	18	6	0	9	11	9	4	1
		59.3%	37.4%	2.2%	57.1%	20.9%	19.8%	6.6%	0.0%	9.9%	12.1%	9.9%	4.4%	1.1%
難病	95	73	18	4	24	5	5	9	1	2	9	9	2	4
		76.8%	18.9%	4.2%	25.3%	5.3%	5.3%	9.5%	1.1%	2.1%	9.5%	9.5%	2.1%	4.2%

問30 問29で回答した相談先に相談することで、悩みや困ったことは解決できていますか。  
(1つに〇)

1. 解決できている
2. 解決できない場合がある
3. わからない

「解決できている」が約37%、「解決できない場合がある」が約33%

悩みや困ったことの解決状況については、全体では「解決できている」が約37%と最も多いものの、障害別にみると、知的・精神障害・難病の方については「解決できない場合がある」が最も多くなっています。特に精神障害の方については、「解決できない場合がある」が約50%と特に多くなっています。



		回答者数	1. 解決できている	2. 解決できない場合がある	3. わからない	無回答
総計	人数	986	368	326	163	129
	構成比		37.3%	33.1%	16.5%	13.1%
身体障害	人数	647	267	189	97	94
	構成比		41.3%	29.2%	15.0%	14.5%
知的障害	人数	153	44	56	33	20
	構成比		28.8%	36.6%	21.6%	13.1%
精神障害	人数	91	22	45	19	5
	構成比		24.2%	49.5%	20.9%	5.5%
難病	人数	95	35	36	14	10
	構成比		36.8%	37.9%	14.7%	10.5%

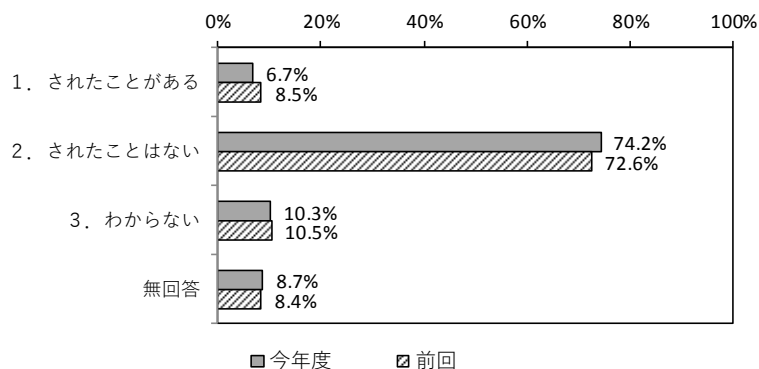
問31-1 これまでに虐待をされたと感じたことはありますか。(1つに○)

1. されたことがある
2. されたことはない
3. わからない

「されたことがある」が全体では約7%、精神障害では約25%

虐待の経験については、全体では「されたことはない」が約74%、「されたことがある」が約7%となっています。

障害別にみると、精神障害の方では「されたことがある」が約25%と他の障害の方よりも高い割合となっています。



(N=986)

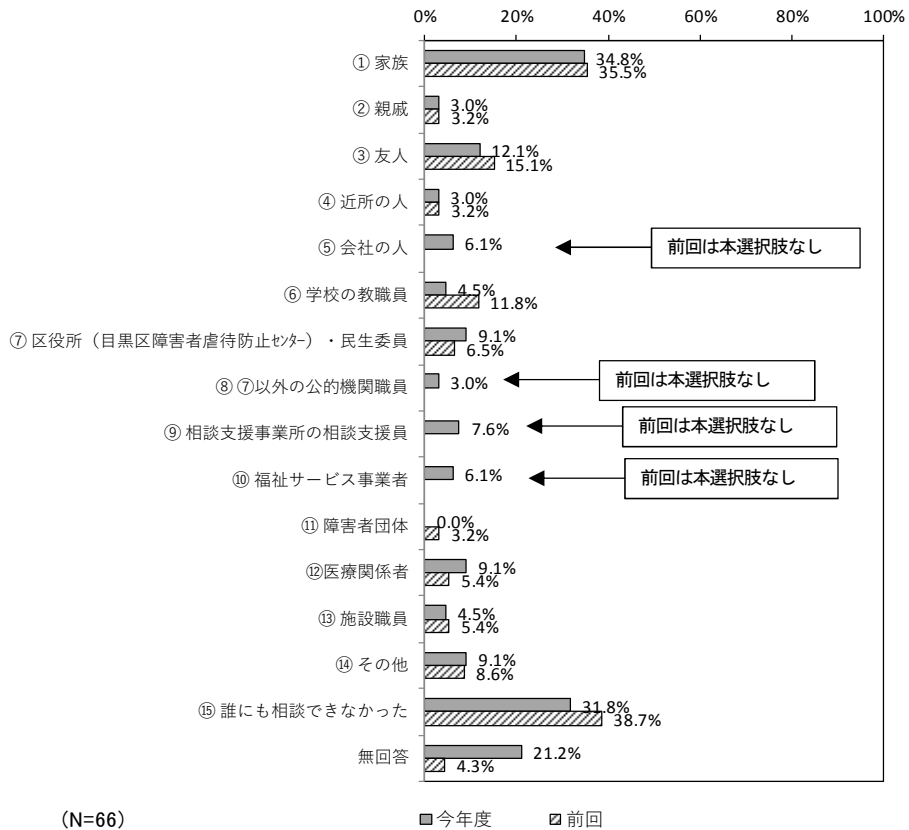
		回答者数	1. されたことがある	2. されたことはない	3. わからない	無回答
総計	人数	986	66	732	102	86
	構成比		6.7%	74.2%	10.3%	8.7%
身体障害	人数	647	26	519	41	61
	構成比		4.0%	80.2%	6.3%	9.4%
知的障害	人数	153	14	85	40	14
	構成比		9.2%	55.6%	26.1%	9.2%
精神障害	人数	91	23	51	15	2
	構成比		25.3%	56.0%	16.5%	2.2%
難病	人数	95	3	77	6	9
	構成比		3.2%	81.1%	6.3%	9.5%

問 31-2 虐待されたとき、誰またはどんなところに相談しましたか。(あてはまるもの5つまでを選択)

- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 家族                       | 2. 親戚         |
| 3. 友人                       | 4. 近所の人       |
| 5. 会社の人                     | 6. 学校の教職員     |
| 7. 区役所（目黒区障害者虐待防止センター）・民生委員 | 8. 7以外の公的機関職員 |
| 9. 相談支援事業所の相談支援員            | 10. 福祉サービス事業者 |
| 11. 障害者団体                   | 12. 医療関係者     |
| 13. 施設職員                    | 14. その他       |
| 15. 誰にも相談できなかった             |               |

「家族」が約35%、「誰にも相談できなかった」が約32%

虐待されたときの相談先については、全体では「家族」が約35%、「誰にも相談できなかった」が約32%となっています。



		回答者数	① 家族	② 親戚	③ 友人	④ 近所の人	⑤ 会社の人	⑥ 学校の教職員	⑦ 区役所（目黒区障害者虐待防止センター）・民生委員	⑧ ⑦以外の公的機関職員	⑨ 相談支援事業所の相談支援員	⑩ 福祉サービス事業者	⑪ 障害者団体	⑫ 医療関係者	⑬ 施設職員	⑭ その他	⑮ 誰にも相談できなかった	無回答
総計	人数	66	23	2	8	2	4	3	6	2	5	4	0	6	3	6	21	14
	構成比		34.8%	3.0%	12.1%	3.0%	6.1%	4.5%	9.1%	3.0%	7.6%	6.1%	0.0%	9.1%	4.5%	9.1%	31.8%	21.2%
身体障害	人数	26	7	1	3	1	0	1	4	1	1	1	0	1	1	4	5	8
	構成比		26.9%	3.8%	11.5%	3.8%	0.0%	3.8%	15.4%	3.8%	3.8%	3.8%	0.0%	3.8%	3.8%	15.4%	19.2%	30.8%
知的障害	人数	14	9	0	0	0	2	2	0	0	2	1	0	0	1	0	1	3
	構成比		64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	21.4%
精神障害	人数	23	7	0	5	1	2	0	2	1	2	2	0	5	1	1	13	2
	構成比		30.4%	0.0%	21.7%	4.3%	8.7%	0.0%	8.7%	4.3%	8.7%	8.7%	0.0%	21.7%	4.3%	4.3%	56.5%	8.7%
難病	人数	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1
	構成比		0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%

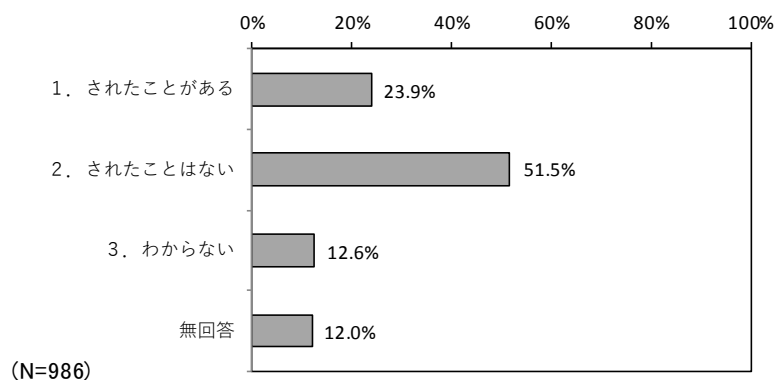
問32-1 これまでに差別をされたと感じたことはありますか。(1つに〇)

1. されたことがある
2. されたことはない
3. わからない

「されたことはない」が約52%、「されたことがある」が約24%

差別の経験については、全体では「されたことはない」が約52%、「されたことがある」が約24%となっています。

障害別にみると、知的・精神障害の方は「されたことがある」がそれぞれ約46%、約47%と最も多くなっています。



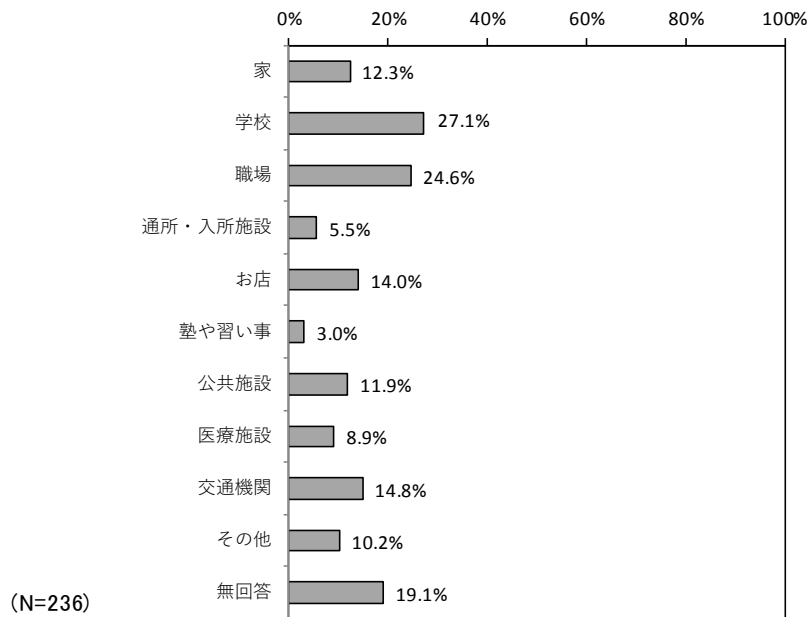
		回答者数	1. されたことがある	2. されたことはない	3. わからない	無回答
総計	人数	986	236	508	124	118
	構成比		23.9%	51.5%	12.6%	12.0%
身体障害	人数	647	110	384	64	89
	構成比		17.0%	59.4%	9.9%	13.8%
知的障害	人数	153	71	33	33	16
	構成比		46.4%	21.6%	21.6%	10.5%
精神障害	人数	91	43	31	14	3
	構成比		47.3%	34.1%	15.4%	3.3%
難病	人数	95	12	60	13	10
	構成比		12.6%	63.2%	13.7%	10.5%

問32-2 どこで差別をされましたか。(あてはまるものすべてに〇)

家/学校/職場/通所・入所施設/お店/塾や習い事/公共施設/医療施設/交通機関/その他

「学校」が約27%、「職場」が約25%

差別をされた場所については、全体では「学校」が約27%、「職場」が約25%となっています。障害別にみると、身体障害の方では「職場」が約22%、次いで「交通機関」が約21%、知的障害の方では「学校」が約38%、次いで「お店」が約20%、精神障害の方では「職場」が約44%、次いで「学校」が約42%、「家」が約30%と多くなっています。



	回答者数	家	学校	職場	通所・入所施設	お店	塾や習い事	公共施設	医療施設	交通機関	その他	無回答
総計	236	29	64	58	13	33	7	28	21	35	24	45
	構成比	12.3%	27.1%	24.6%	5.5%	14.0%	3.0%	11.9%	8.9%	14.8%	10.2%	19.1%
身体障害	110	13	17	24	6	15	1	17	13	23	11	24
	構成比	11.8%	15.5%	21.8%	5.5%	13.6%	0.9%	15.5%	11.8%	20.9%	10.0%	21.8%
知的障害	71	1	27	13	5	14	6	8	2	9	7	11
	構成比	1.4%	38.0%	18.3%	7.0%	19.7%	8.5%	11.3%	2.8%	12.7%	9.9%	15.5%
精神障害	43	13	18	19	2	3	0	3	6	3	4	5
	構成比	30.2%	41.9%	44.2%	4.7%	7.0%	0.0%	7.0%	14.0%	7.0%	9.3%	11.6%
難病	12	2	2	2	0	1	0	0	0	0	2	5
	構成比	16.7%	16.7%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	41.7%

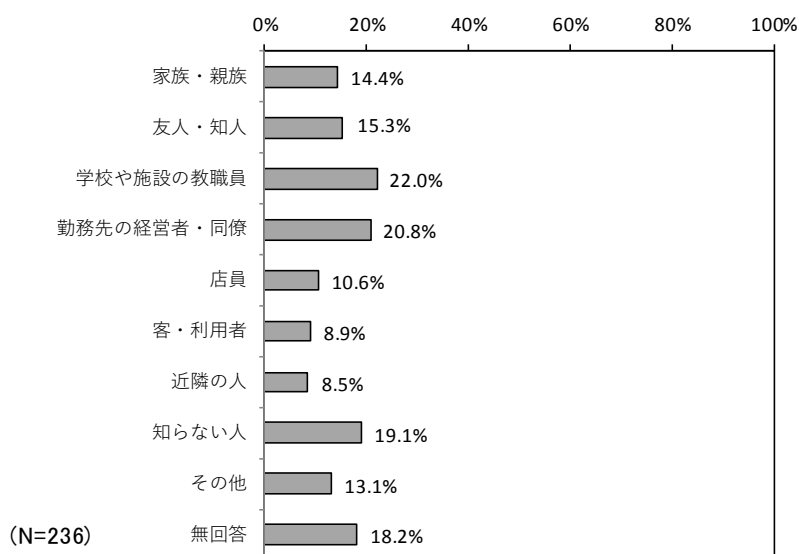
### 問 32-3 誰から差別をされましたか。(あてはまるものすべてに〇)

家族・親族／友人・知人／学校や施設の教職員／勤務先の経営者・同僚／店員／客・利用者／近隣の人／知らない人／その他

#### 身体・知的障害では「知らない人」、精神障害では「家族・親族」

差別をされた相手については、全体では「学校や施設の教職員」が約22%、「勤務先の経営者・同僚」が約21%となっています。

障害別にみると、身体・知的障害の方では、「知らない人」がそれぞれ約23%、約21%と多くなっています。精神障害の方では、「家族・親族」が約37%と多くなっています。



		回答者数	家族・親族	友人・知人	学校や施設の教職員	勤務先の経営者・同僚	店員	客・利用者	近隣の人	知らない人	その他	無回答
総計	人数	236	34	36	52	49	25	21	20	45	31	43
	構成比		14.4%	15.3%	22.0%	20.8%	10.6%	8.9%	8.5%	19.1%	13.1%	18.2%
身体障害	人数	110	13	11	15	19	13	10	9	25	19	26
	構成比		11.8%	10.0%	13.6%	17.3%	11.8%	9.1%	8.2%	22.7%	17.3%	23.6%
知的障害	人数	71	2	10	25	12	9	8	8	15	4	10
	構成比		2.8%	14.1%	35.2%	16.9%	12.7%	11.3%	11.3%	21.1%	5.6%	14.1%
精神障害	人数	43	16	15	11	16	3	3	3	4	7	2
	構成比		37.2%	34.9%	25.6%	37.2%	7.0%	7.0%	7.0%	9.3%	16.3%	4.7%
難病	人数	12	3	0	1	2	0	0	0	1	1	5
	構成比		25.0%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	41.7%



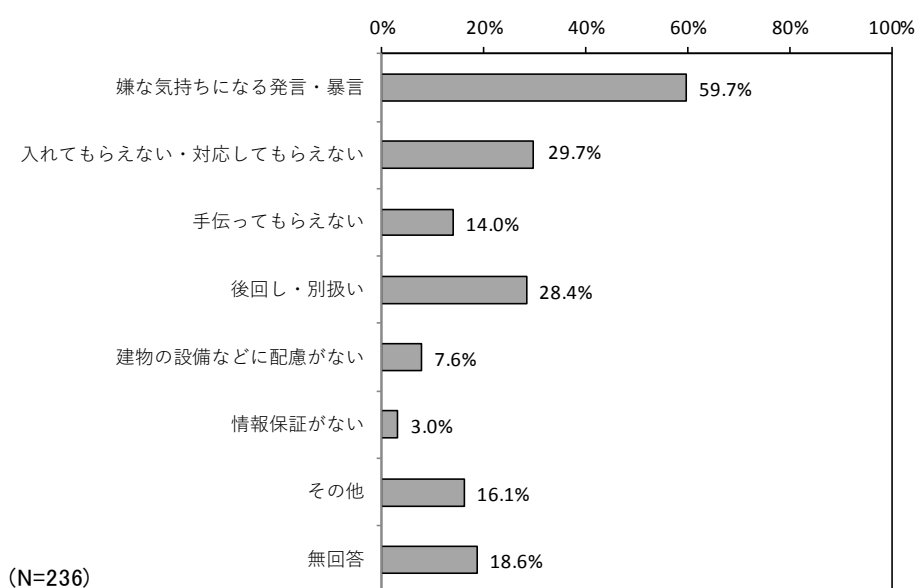
問 32-4 どのような差別をされましたか。(あてはまるものすべてに○)

嫌な気持ちになる発言・暴言／入れてもらえない・対応してもらえない／手伝ってもらえない／後回し・別扱い／建物の設備などに配慮がない／情報保証がない／その他

「嫌な気持ちになる発言・暴言」が約60%

差別の内容については、「嫌な気持ちになる発言・暴言」が約60%、「入れてもらえない・対応してもらえない」が約30%となっています。

障害別にみると、精神障害・難病の方では「後回し・別扱い」がそれぞれ約37%、約25%と多くなっています。



		回答者数	嫌な気持ちになる発言・暴言	入れてもらえない・対応してもらえない	手伝ってもらえない	後回し・別扱い	建物の設備などに配慮がない	情報保証がない	その他	無回答
			人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
総計	人数	236	141	70	33	67	18	7	38	44
	構成比		59.7%	29.7%	14.0%	28.4%	7.6%	3.0%	16.1%	18.6%
身体障害	人数	110	63	25	17	24	13	4	19	26
	構成比		57.3%	22.7%	15.5%	21.8%	11.8%	3.6%	17.3%	23.6%
知的障害	人数	71	41	28	10	24	4	1	8	9
	構成比		57.7%	39.4%	14.1%	33.8%	5.6%	1.4%	11.3%	12.7%
精神障害	人数	43	33	16	6	16	1	2	10	4
	構成比		76.7%	37.2%	14.0%	37.2%	2.3%	4.7%	23.3%	9.3%
難病	人数	12	4	1	0	3	0	0	1	5
	構成比		33.3%	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	41.7%

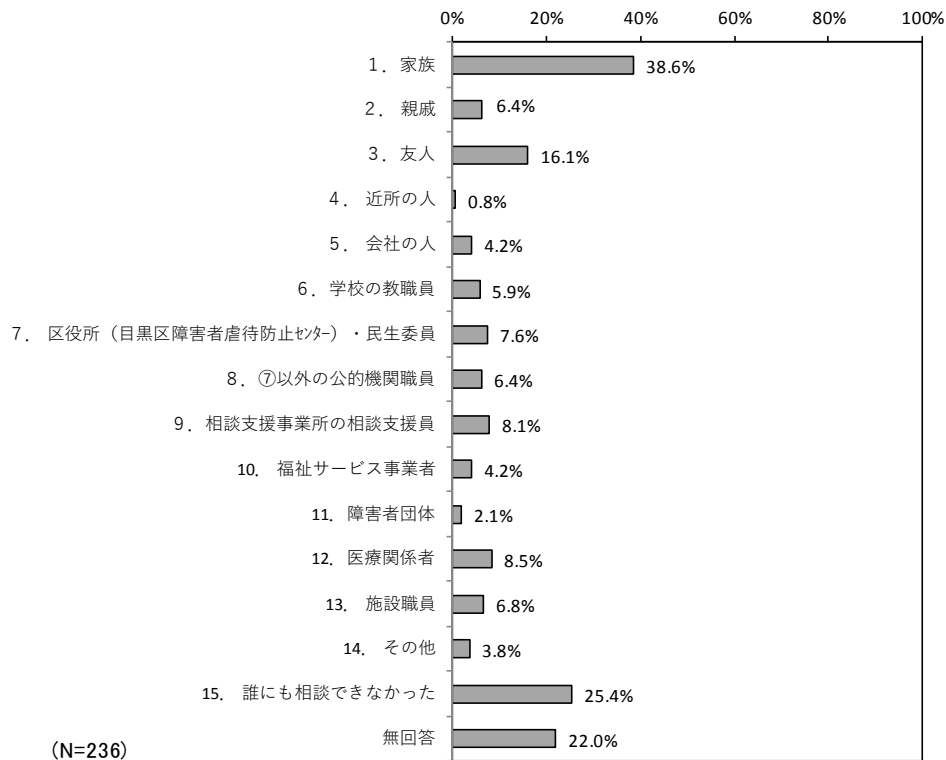
問 32-5 差別されたとき、誰またはどんなところに相談しましたか。(あてはまるもの5つまでを選択)

- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 1. 家族                       | 2. 親戚         |
| 3. 友人                       | 4. 近所の人       |
| 5. 会社の人                     | 6. 学校の教職員     |
| 7. 区役所（目黒区障害者虐待防止センター）・民生委員 | 8. 7以外の公的機関職員 |
| 9. 相談支援事業所の相談支援員            | 10. 福祉サービス事業者 |
| 11. 障害者団体                   | 12. 医療関係者     |
| 13. 施設職員                    | 14. その他       |
| 15. 誰にも相談できなかった             |               |

「家族」が約39%、「誰にも相談できなかった」が約25%

差別をされたときの相談先については、「家族」が約39%、「誰にも相談できなかった」が約25%となっています。

障害別にみると、知的障害の方は「相談支援事業所の相談支援員」が約16%、精神障害・難病の方では「友人」がそれぞれ約26%、25%となっています。



	回答者数	① 家族	② 親戚	③ 友人	④ 近所の人	⑤ 会社の人	⑥ 学校の教職員	⑦ 区役所（目黒区障害者虐待防止センター）・民生委員	⑧ ⑦以外の公的機関職員	⑨ 相談支援事業所の相談支援員	⑩ 福祉サービス事業者	⑪ 障害者団体	⑫ 医療関係者	⑬ 施設職員	⑭ その他	⑮ 誰にも相談できなかった	無回答																		
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比																
総計	236	91	38.6%	15	6.4%	38	16.1%	2	0.8%	10	4.2%	14	5.9%	18	7.6%	15	6.4%	19	8.1%	10	4.2%	5	2.1%	20	8.5%	16	6.8%	9	3.8%	60	25.4%	52	22.0%		
身体障害	110	41	37.3%	6	5.5%	17	15.5%	2	1.8%	4	3.6%	2	1.8%	8	7.3%	8	7.3%	6	5.5%	3	2.7%	0	0.0%	1	0.9%	7	6.4%	3	2.7%	3	2.7%	31	28.2%	28	25.5%
知的障害	71	34	47.9%	5	7.0%	7	9.9%	0	0.0%	5	7.0%	9	12.7%	7	9.9%	5	7.0%	11	15.5%	4	5.6%	3	4.2%	5	7.0%	10	14.1%	3	4.2%	8	11.3%	15	21.1%		
精神障害	43	12	27.9%	1	2.3%	11	25.6%	0	0.0%	1	2.3%	3	7.0%	2	4.7%	2	4.7%	2	4.7%	3	7.0%	1	2.3%	7	16.3%	3	7.0%	2	4.7%	15	34.9%	8	18.6%		
難病	12	4	33.3%	3	25.0%	3	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	1	8.3%	6	50.0%	1	8.3%		

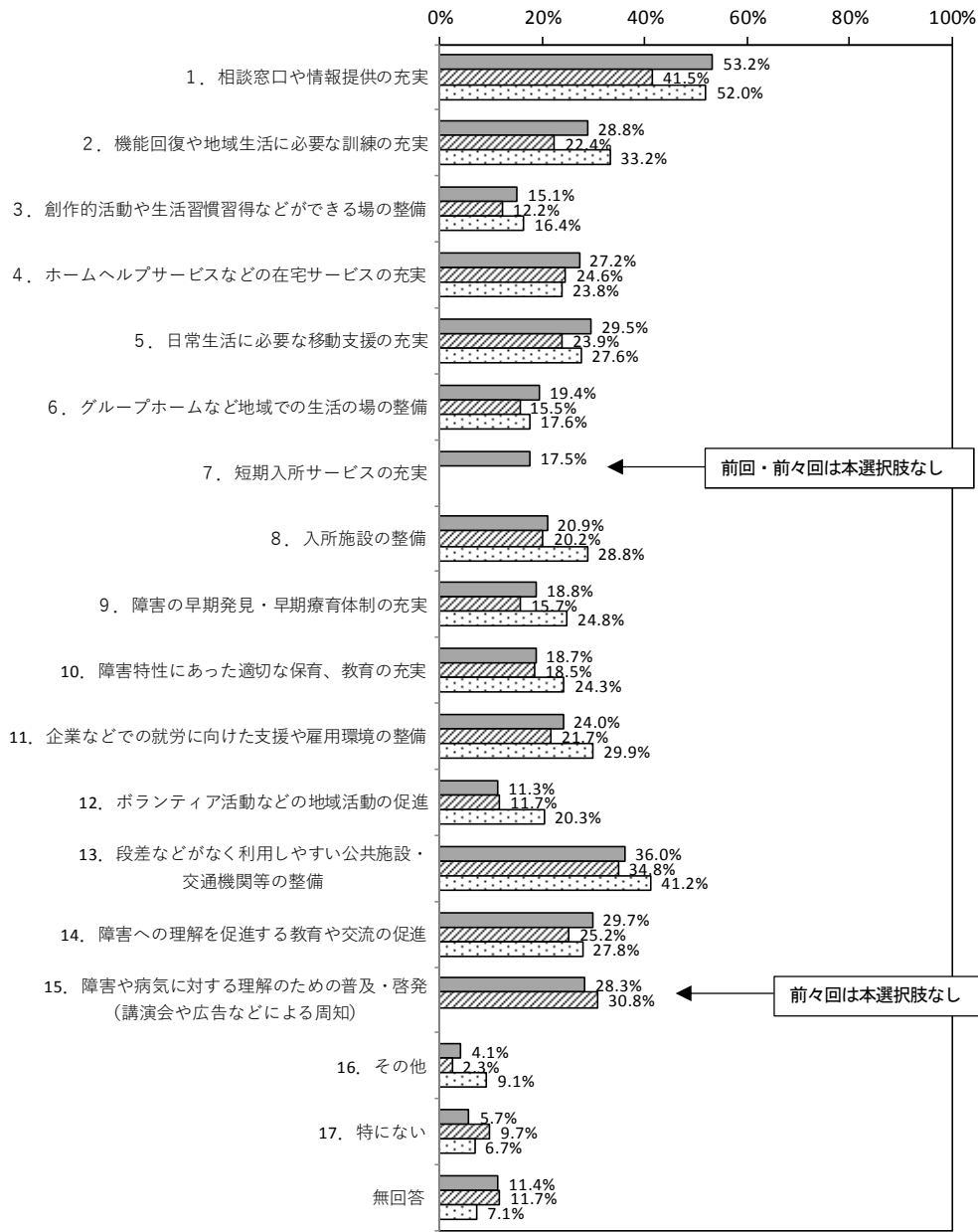
問 33 障害者が地域で自立して生活を送るために、重要と思う取り組みは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談窓口や情報提供の充実
2. 機能回復や地域生活に必要な訓練の充実
3. 創作的活動や生活習慣習得などができる場の整備
4. ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実
5. 日常生活に必要な移動支援の充実
6. グループホームなど地域での生活の場の整備
7. 短期入所サービスの充実
8. 入所施設の整備
9. 障害の早期発見・早期療育体制の充実
10. 障害特性にあった適切な保育、教育の充実
11. 企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備
12. ボランティア活動などの地域活動の促進
13. 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関等の整備
14. 障害への理解を促進する教育や交流の促進
15. 障害や病気に対する理解のための普及・啓発（講演会や広告などによる周知）
16. その他
17. 特にない

「相談窓口や情報提供の充実」が約53%

地域での自立した生活のために重要だと思う取り組みについては、全体では「相談窓口や情報提供の充実」が約53%、「段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関等の整備」が約36%となっています。

障害別にみると、知的障害の方では、「グループホームなど地域での生活の場の整備」が約60%と最も高くなっています。また、知的・精神障害の方では、「障害への理解を促進する教育や交流の促進」「障害や病気に対する理解のための普及・啓発（講演会や広告などによる周知）」への回答が多くなっています。



(N=986)

■今年度 ■前回 □前々回

	回答者数	Category																	
		1 相談窓口や情報提供の充実	2 機能回復や地域生活に必要な訓練の充実	3 創作的活動や生活習慣習得などができる場の整備	4 ホームヘルプサービスなどの在宅サービスの充実	5 日常生活に必要な移動支援の充実	6 グループホームなどの整備	7 短期入所サービスの充実	8 入所施設の整備	9 障害の早期発見・早期療育体制の充実	10 障害特性にあった適切な保育、教育の充実	11 企業などでの就労に向けた支援や雇用環境の整備	12 ボランティア活動などの地域活動の促進	13 段差などがなく利用しやすい公共施設・交通機関等の整備	14 障害への理解を促進する教育や交流の促進	15 障害や病気に対する理解のための普及・啓発（講演会や広告などによる周知）	16 その他	17 特になし	無回答
総計	986	525	284	149	268	291	191	173	206	185	184	237	111	355	293	279	40	56	112
		53.2%	28.8%	15.1%	27.2%	29.5%	19.4%	17.5%	20.9%	18.8%	18.7%	24.0%	11.3%	36.0%	29.7%	28.3%	4.1%	5.7%	11.4%
身体障害	647	323	189	74	176	174	76	89	118	96	91	126	55	271	148	149	24	43	79
		49.9%	29.2%	11.4%	27.2%	26.9%	11.7%	13.8%	18.2%	14.8%	14.1%	19.5%	8.5%	41.9%	22.9%	23.0%	3.7%	6.6%	12.2%
知的障害	153	88	41	45	46	73	92	62	58	42	56	54	33	32	85	64	7	5	9
		57.5%	26.8%	29.4%	30.1%	47.7%	60.1%	40.5%	37.9%	27.5%	36.6%	35.3%	21.6%	20.9%	55.6%	41.8%	4.6%	3.3%	5.9%
精神障害	91	66	32	22	26	19	10	9	19	30	22	41	13	22	42	43	6	5	4
		72.5%	35.2%	24.2%	28.6%	20.9%	11.0%	9.9%	20.9%	33.0%	24.2%	45.1%	14.3%	24.2%	46.2%	47.3%	6.6%	5.5%	4.4%
難病	95	48	22	8	20	25	13	13	11	17	15	16	10	30	18	23	3	3	20
		50.5%	23.2%	8.4%	21.1%	26.3%	13.7%	13.7%	11.6%	17.9%	15.8%	16.8%	10.5%	31.6%	18.9%	24.2%	3.2%	3.2%	21.1%

## (2) 自由意見

項目	主なご意見
支援・サービス	<p>(身体) 介護保険の場合、車イスでの病院通院時に、ヘルパーさんが院内に入れないため、院内での移動が不安</p> <p>(身体) 週に一度ヘルパーに買い物に同行してもらっているが、時間が短い</p> <p>(身体) 遠方の病院に長期入院させていると、要介護度5でも介護保険は何の使い道もない。このようなケースでも受けられるサービスを作るべき</p> <p>(身体) 聴覚障害者の補装具は多様化、高額化して負担になっているにもかかわらず、行政の支援が追いついていないと感じる</p> <p>(知的) 受け皿はまだまだ少なく、重度の知的障害者の24時間の見守りをどうカバーしたらいいか悩みはつきない</p> <p>(知的) 区の支援は、本人が調べたり連絡をとったり何でも自分でやらなくてはならない。もっと相談者とサービス提供者の間に入り取り持ってほしい</p> <p>(知的) 成人の通所施設終了後の過ごし方は、現在は移動支援でどこかに出かけるサービスを利用するしかない状況である。屋内で過ごせる日中一時支援のようなサービスが必要</p> <p>(精神) 障害の重さによって通える所をわけてほしい。気軽に安全に通える所がない</p> <p>(難病) タクシー券は体調不良での通院時に助かった</p>
居住・施設	<p>(身体) 借りる際の手続きなどが必要なく、いつでも、だれでも使えるような場所があると嬉しい</p> <p>(身体) 在宅での老障介護は不可能。入所施設の必要性を強く感じる</p> <p>(知的) 短期入所施設とその定員を増やしてほしい</p> <p>(知的) グループホーム、入所施設を増やしてほしい</p> <p>(精神) 家賃補助が少ない。生活保護受給者は特に家を借りるのが難しい</p> <p>(難病) 自宅から区内の施設までが遠いので行くことができない</p>
相談・情報提供	<p>(身体) 総合窓口のようなところをつくり、手続きの流れや必要書類、かかる時間などを教えてもらえるとよい</p> <p>(身体) 高齢なのでパソコンが使えず情報を知りにくい</p> <p>(身体) わかりやすいホームページや窓口などの案内がない</p> <p>(身体) せっかく良い施設があるのに周知がされていない</p> <p>(知的) 区からの情報発信が少ない。相談に行ってもリストを渡されて自力で探して、という対応は求めている</p>
利用料・費用負担	<p>(身体) 長期にわたって同じ薬を飲む必要があるが、通院費、医療費、薬代など負担が大きい</p> <p>(身体) 65歳を過ぎてから障害者手帳を取得したため、障害者年金の支給が適用されない</p> <p>(知的) 成年後見制度を利用したいと思うが、弁護士費用が高く年金から支払いができるか不安</p> <p>(難病) 病気が進行していくと、薬が増え医療費がかかるが、仕事をすることもできない</p>
就労	<p>(身体) 「障害者枠」でしか採用されず給与水準が低い</p> <p>(知的) 仕事ができるのはうれしいが、アルバイトから抜けだせない</p> <p>(精神) 現在作業中心の仕事をしていて、そろそろ働きたいが、どのような仕事か自分にあっているのかわからない</p> <p>(難病) 新卒で就職活動をしたが、ハローワークの難病患者への支援では新卒者は対象でないとわれ、新卒者枠に申し込むと難病への配慮は難しいとの回答であった。手帳がないので障害者枠の対象にもならなかった</p>

項目	主なご意見
障害の理解・啓発	<p>(身体) 優先席やエレベーターを健常者が使っていて使えない。外見上障害があることがわからないので、使いづらい</p> <p>(身体) 歩きスマホや歩道を走る自転車とぶつかりそうになる</p> <p>(身体) 問い合わせ先にメールアドレスやFAXも記載してほしい。筆談で対応できることをわかってほしい</p> <p>(知的) 学生が施設訪問に来て果物などをお礼として渡したりするが、これで障害の理解が進むとは思わない。学校側は物をあげることが理解ではないということを学生に指導してほしい</p> <p>(精神) 障害、特に精神障害は病気に対する理解と知識が不足しているので、学校や職場などでの教育や、地域での病気の理解を促してほしい</p>
高齢化	<p>(身体) 今はまだ動けるが、年を重ねていくとどうなるか不安になる。入所施設にお金はどれくらいかかるか、どんなところがあるのか知りたい</p> <p>(身体) 高齢の配偶者をかかえているが、頑張るしかない</p> <p>(身体) 公的住宅を希望しているが高齢のため保証人がいない</p>
バリアフリー	<p>(身体) 長時間歩くことができないため、ちょっと腰かけられる場所があるとよい</p> <p>(身体) 建物を作る段階から、いろいろな障害を持つ人が利用することを考えてほしい。大小さまざまな不便がある</p> <p>(難病) 住宅地の歩道は狭く、柵があるとすれ違いができない</p>
防災・災害時	<p>(身体) 腹膜透析のため、電気の供給が受けられない時どうするかとても心配</p> <p>(身体) 道路が安全ではないときに、車いすでどのように避難所に行けばよいのか不安</p> <p>(身体) きれいな水の確保ができるか不安</p>
その他	<p>(身体) 駐車場や駐車可能な場所が少ない。障害者送迎用自家用車の駐車禁止場所への駐車許可の範囲が広がることを希望する</p> <p>(身体) 障害当事者の声を聞く機会を増やして欲しい</p> <p>(知的) 親が高齢なこともあり、将来一人きりになってしまった場合生きていけるのか不安</p> <p>(難病) 難病助成の年齢制限をやめてほしい</p>